

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービシズ
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=大統領就任式と日銀会合に注目

2025年1月20日

来週、日米二つの材料に注目が集まっています。

まずは米国、20日にトランプ次期大統領の就任式が予定されています。18日にバージニア州のトランプナショナルゴルフクラブでレセプションを行い、バンス次期副大統領主催の夕食会なども予定されています。19日にはワシントンDCで政治集会を開く予定。20日当日は午前中に慣例であるバイデン大統領とのお茶会を行い、11時半の副大統領の宣誓に続き、正午から大統領宣誓が行われます。これにより第47代米大統領に正式に就任し、12時半から就任演説を行います。

就任演説の内容に加え、初日に出されるとみられる多くの大統領令にも注目が集まります。バイデン大統領の時は就任初日に15の大統領令に署名が行われ、第1期トランプ政権で出された多くの大統領令を撤回、トランプ氏が離脱したパリ協定復帰など、脱トランプの姿勢をアピールしました。トランプ氏は初日にバイデン氏によって撤回された大統領令の復活などを含め、25以上の大統領令を出して、今後の姿勢をアピールしてくるとみられます。トランプ氏が以前の米紙でのインタビューで、「あなたは独裁者になるつもりはありますか？」と問われ、「独裁者になるつもりは全くない、初日以外は」と回答しています。逆に言えば初日は独裁者になるということ。かなり積極的な姿勢が見られると予想されます。

具体的に行われるとみられる方針としては、まず脱・脱炭素。トランプ氏はかねてから「ドリル、ベイビー、ドリル」(掘って、掘って、掘りまくれ)という2008年に共和党副大統領候補であったサラ・ペイリン氏によって提唱されたフレーズを使い、米国内の石油・天然ガス生産の拡大方針を強く示しています。

続いては移民問題。トランプ氏は就任初日に国境を閉め、不法移民を送り返すとしています。ただ、米国内の不法移民の数は1100万人にも上り、すべての不法移民を送り返すことは現実的ではありません。また、第1期トランプ政権でも移民について厳しい姿勢を口にしていましたが、実際に強制送還された数は、150万人ほどに留まっており、第1期オバマ政権の290万人の約半分、第2期オバマ政権の190万人も下回り、バイデン政権とほぼ同数となります。どこまで実効性のある移民の送還姿勢を打ち出すのかなどが注目されます。

最後に相場に最も影響を与えそうな経済政策です。まずは関税の問題。今回の選挙戦の中で関税強化姿勢を打ち出してきたトランプ氏だけに、その姿勢が注目されます。すでに初日に「外国歳入庁」という外国からの関税を徴収する部署を設置することが表明されています。また、メキシコとカナダに25%の関税、第1期トランプ政権で4段階に分けて関税を付与し、現在7.5%-25%(EV車は100%)の関税がかかっている中国にも追加で10%もしくは60%の関税をかけるとの姿勢を示しています。またすべての国・地域を対象に10-20%の関税をかけるユニバーサル関税の方針も見せています。これらの動きは基本的にドル高に作用するとみられます。

一方でインフレ抑制も経済政策の柱として示されています。関税による輸入物価上昇が見込まれる中ですが、エネルギーコストの軽減や運送コストの低下などで物価を抑える姿勢となっています。規制緩和、国内産業保護などと合わせ、どこまでの姿勢を示す

のかも注目ポイントです。

ある程度は織り込まれているとはいえ、基本的にはドル高に作用しそうな状況となっているだけに、実際の反応に注目です。

続いて23日、24日の日銀金融政策決定会合です。

前回の会合などで春闘交渉の状況について言及したこともあって、1月の会合での利上げ見送りの可能性が意識されていましたが、14日に氷見野日銀副総裁が経済見通しが実現すれば利上げ、支店長会議でも全体に強めの意見多い、来週の会合で利上げを議論し判断などと発言。15日の植田日銀総裁も同様の姿勢を示したことで、利上げ期待が強まりました。短期金利市場で一時90%近くが利上げを見込む状況。その後も利上げ優勢です。ただ金融機関のアナリストなど、専門家による予想ではほぼ拮抗という状況で、利上げ据え置きどちらの可能性もあります。基本的に利上げ実施で円買い、見送りで円売りが見込まれます。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。